

本展は、秋田県内において風的作用により形作られた物的要素を『風の景観』として位置づけ紹介するものです。

「秋田は風が強い」とよくいわれます。

それならば、その強い風と、地域に暮らす人々との応答関係においてこそ、秋田固有の景観が生まれるのではないのでしょうか。

そんな考えのもとに集められた『風の景観』は、地域の人々が見慣れてしまった日常的な風景を再考するきっかけとなり、その場を特徴づける新たな視覚像を形成し始めます。本展は、これまで何の結びつきも見いだせなかった個々の事象を、『風の景観』というひとつのネットワークに位置づける試みでもあります。

4 / 29 [fri]

5 / 8 [sun]

open 10:00

close 18:50

フォンテ AKITA 6階
(秋田市中通二丁目 8-1)

秋田公立美術大学
サテライトセンター

風

と

まち

秋田公立美術大学 × 秋田洋上風力発電株式会社 共同研究成果展

4 / 29 [fri]

5 / 8 [sun]

open 10:00

close 18:50

フォンテ AKITA 6階
(秋田市中通二丁目 8-1)

秋田公立美術大学
サテライトセンター

展示会場では、アンケートにご回答いただいた方に、本展に関わる調査活動をまとめた研究成果報告集をプレゼント致します
※先着順で配布 なくなり次第終了

守米郷（かみまいごう）は長らく幻の集落と呼ばれてきた。

海と山に囲まれ、羽州街道をはじめとする主要な街道から外れていたかつての守米郷は、辿り着くのが困難なまちであった。加えて、刻一刻と変化する守米郷の風景を目にした来訪者は、ある時は感動し、ある時は畏怖し、その実在に疑いを持ったという。まちを変幻させた大きな要因は『風』である。

海から強烈に吹き付ける西風は、地形的要因と相まって、複雑な風環境を作り出した。人々は風に対して、受け流したり、抵抗したり、活用したりと折り合いをつけながら生活してきた。本展では、こうした守米郷の人と風との応答の歴史を紹介する。

風 守米 郷 村 の まち